



## 角膜潰瘍 ってなに?



どんな  
病気?

何らかの原因で、目の表面にある透明な膜「角膜」に傷ができた状態。角膜が傷つくと痛みがあり、目を治療しないと傷が深くなったり、細菌感染を起こしたりして悪化。角膜に穴があくと、失明のおそれもあります。

おもな  
原因

原因は  
目の病気や外傷などさまざま。

角膜が直接受けた外傷や、角膜の乾燥を引き起こすドライアイ、角膜に傷ができる病気などが原因になることが多いです。傷に細菌やウイルスが感染し、悪化することもあります。

### 原因になるおもな目の病気

#### 角膜損傷

散歩中に木の枝で擦れる、異物が入るなどで、角膜が傷つきます。



#### ドライアイ(乾性角結膜炎)

目の表面が極度に乾燥する病気。まぶたの動きで角膜が傷つくことも。



#### 異所性まつげ

通常は生えていない場所にまつげが発毛している病気。角膜に直接当たって傷つけます。



#### 角膜変性症

角膜にカルシウム分が白い結晶状に沈着する病気。放っておくと、半年から1年ほどで角膜に穴があくことも。



#### 免疫介在性の角膜炎

●慢性表在性角膜炎  
おもに自己免疫が原因で、角膜に血管が伸びてくる病気。治療で改善しても再発を繰り返します。



●点状表層角膜炎  
角膜の表面が点状に傷つく病気。自己免疫が原因になることが多いです。



#### デスメ膜瘤

角膜の深層にあるデスメ膜にまで及ぶ傷がつき、デスメ膜が飛び出している状態。失明のおそれもあるため、早急な対応が必要です。



検査

傷の有無と傷の深さを検査します。

角膜に傷があるかを調べるのは、フルオレセイン染色という検査です。傷があると角膜が緑色に染まるため、角膜潰瘍の診断ができます。また、傷の深さなどはスリットランプ(細隙灯)で調べます。涙の量の検査、細菌やウイルス感染がないかを調べる細菌培養検査なども適宜行い、目の状態を正確に把握します。

傷が染色液で  
緑色に着色



フルオレセイン染色で着色が認められたので、角膜潰瘍と診断

角膜に穴があく  
“角膜穿孔”



くぼみのように見えるのが穿孔した部分。早急な措置が必要です。

治療

点眼治療を中心に、  
手術のケースも。

点眼薬での内科治療が中心です。角膜を保湿・保護する成分の点眼薬や自己血清点眼薬をはじめ、感染を伴う場合は抗生物質や抗コラゲナーゼ薬など、自己免疫が関係するケースはステロイドなどの点眼薬を使います。また、傷が深いケースなどでは、結膜を傷の部分に縫いつけるなどの外科手術が必要になることもあります。



↓ドライアイになりやすく眼球のケガもしやすい!↓

鼻ぺちゃ犬はとくに注意!



バグなどの短頭種、シー・ズーなどの鼻先が短い犬種は、目がやや飛び出ているため、ぶついたり、草木で傷をつけたりしやすいため角膜潰瘍が多くみられます。また、まぶたが閉じきれず、角膜が乾燥してドライアイになりやすい傾向も。

おもな  
症状

- まぶしそうに目を細める
- 目のしょぼつき
- 多量の目ヤニ
- 白目の充血
- 涙の量の増加など

目ヤニや涙の量の変化、目つきの変化については、日ごろからよく観察しておきましょう。



いぬに多い病気、そこが知りたい! は「いぬのきもち」で連載中!

●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が  
マイページから定期購読を申込みと  
**2号(2ヶ月分)無料!!**